

日本列島の長期的地質変動の 予測に向けた取り組みと 今後の課題

— 数十万年の過去を解明し、将来を予測する技術・知見・モデル —

2015年 秋葉原ダイビル 2Fコンベンションホール

定員：300名

1月16日(金)

13:00～18:10
(受付開始 12:30～)

入場無料

主催：産業技術総合研究所 地質調査総合センター

地震・断層、火山・マグマ活動や、深部流体・熱水活動等は互いに影響・関連しており、日本列島の長期的な地質構造発達史の観点での検討・解明を進める必要がある。本シンポジウムでは、各種の地質変動に対する、過去から現在までの履歴の解明と、それに基づく傾向・特徴の抽出、また、将来予測につながる地質学的モデル構築に対する取り組みや代表的な成果を報告すると共に、今後の課題について議論したい。

プログラム

シンポジウムの趣旨	佃 栄吉 (理事・地質調査総合センター代表)
後期新生代、東北日本弧の火成活動史	吉田武義 (東北大学名誉教授)
マグマ含水量分布からみたマグマ活動位置の評価	宮城磯治 (活断層・火山研究部門)
スラブ起源深部流体 — その分布、成因と地震活動との関連について —	風早康平 (活断層・火山研究部門)
プレート運動からみた日本列島の地殻変動	高橋雅紀 (地質情報研究部門)
日本列島の応力場解析と長期の断層活動性評価	大坪 誠 (活断層・火山研究部門)
超巨大地震と日本列島の造山運動	池田安隆 (東京大学大学院理学系研究科)
総合討論	司会：渡部芳夫 (深部地質環境研究コア代表)
閉会挨拶	桑原保人 (活断層・火山研究部門長)

[ポスターセッション]

火山・マグマ・熱水活動、断層活動、地殻変動に関連したポスター (9件)

会場案内



CPD (土質・地質技術者の生涯学習ネット) : 4.5 単位